



2026年 8 月12日

各 位

会 社 名 K&Oエナジーグループ株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員
緑川 昭夫
(コード番号：1663 東証プライム)
問合せ先 総務部マネージャー 石田 広成
(TEL 0475-27-1011)

業績予想の修正及び配当政策の一部変更に伴う 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日に公表しました2026年12月期（2026年1月1日～2026年12月31日）の通期連結業績予想を修正するとともに、配当政策の一部変更に伴い、配当予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 87,000	百万円 9,200	百万円 10,300	百万円 6,300	円 銭 118.00
今回修正予想(B)	99,900	9,600	10,900	6,800	127.31
増減額(B-A)	12,900	400	600	500	—
増減率(%)	14.8	4.3	5.8	7.9	—
(参考) 前期連結実績 (2025年12月期)	91,354	10,594	11,699	8,379	156.99

※当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2026年12月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。株式分割を考慮しない場合の2026年12月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は254円61銭となります。

(2) 業績予想修正の理由

輸入エネルギー価格の影響によるガス販売価格の上昇等により、売上高は増加を見込んでおります。また、為替相場が想定よりも円安で推移したことなどに伴い、ヨウ素の販売価格が上昇したことから、ヨウ素事業の営業利益は増加する見通しとなりました。これらの結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想に比べ増加する見通しとなりました。

以上の理由により、業績予想を上記のとおり修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる可能性もあります。
 ※2026年12月期第2四半期の業績の詳細につきましては、本日公表の「2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信」をご覧ください。

2. 配当政策の一部変更に伴う配当予想の修正

（1）配当政策の一部変更

①変更理由

当社は、株主還元の充実を重要な経営課題の一つと位置付け、累進配当を基本とする配当政策のもと、継続的な安定配当に努めてまいりました。

こうした中、貴重な国産資源を長期的かつ安定的に生産・供給するコア事業への投資と、新たな事業領域における成長を目指した未来事業への投資のバランスを取りながら、中長期の連結業績及びフリー・キャッシュフロー等を、足元の実績及び今後の見通しを踏まえて総合的に勘案し、継続的な安定配当による株主還元を一層充実させることが可能であると判断いたしました。

②変更内容

（下線は変更部分）

変更前	変更後
当社は、グループ会社を通じて、貴重な国産資源を長期的かつ安定的に生産・供給するコア事業への投資と、新たな事業領域における成長を目指した未来事業への投資のバランスを取りながら、中長期の連結業績及びフリー・キャッシュフロー等を総合的に勘案し、継続的な安定配当による株主還元の充実を目指すことを基本方針としております。この考え方に基づき、中期経営計画（中計2027）では「累進配当」を導入するとともに、中計2027の最終年度の株主還元指標を「株主資本配当率（DOE）1.5%」といたします。	当社は、グループ会社を通じて、貴重な国産資源を長期的かつ安定的に生産・供給するコア事業への投資と、新たな事業領域における成長を目指した未来事業への投資のバランスを取りながら、中長期の連結業績及びフリー・キャッシュフロー等を総合的に勘案し、継続的な安定配当による株主還元の充実を目指すことを基本方針としております。この考え方に基づき、 <u>中期経営計画（中計2027）において掲げる累進配当を維持するとともに、2027年度に株主資本配当率（DOE）3.0%を目安とした配当を実施してまいります。</u>

（2）配当予想修正の理由

上記変更後の配当政策に基づき、当期の業績見通しも勘案のうえ、安定的な配当を継続しながら、1株当たり配当金を増額することとし、次のとおり1株当たり期末配当金を前回予想の15円から14円増額し、29円とする予定であります。なお、当該期末配当金につきましては、2027年3月下旬開催予定の第13期定時株主総会に付議する予定です。

（3）修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2026年5月13日発表)		15.00円	—
今回修正予想		29.00円	—
当期実績	30.00円		
前期実績 (2025年12月期)	24.00円	30.00円	54.00円

※上記の配当予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の配当は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

※当社は、2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前回予想及び今回修正予想の期末配当金は株式分割後の金額を記載しております。年間配当金合計については、株式分割の実施により単純合計ができないため表示しておりません。なお、今回修正予想における株式分割前ベースでの年間配当金は1株当たり88.00円の予想です。

以 上